

Gベース（防護柵用基礎ブロック）

国土交通省 NETIS（新技術情報提供システム）登録番号 HR-050011-V

「Gベース」は、品質・工期・安全性・施工性・経済性・メンテナンスなどあらゆる面で現場打ち工法に比べて多くの長所を持った画期的なたわみ性防護柵用基礎ブロックです。

「Gベース」は、車両の衝突荷重を考慮し、金沢大学の指導の下、安定・構造試験を行い、その安全性が確認され、たわみ性防護柵 C 種～SC 種に対応しています。

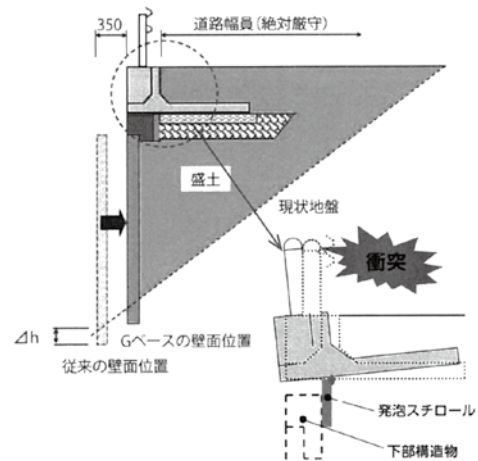
平成16年度制定『車両用防護柵標準仕様・同解説』平成20年度制定『防護柵の設置基準・同解説』に準拠しています。

防護柵の種別	衝突荷重	作用高
B・C種	30kN	0.600m
A種	55kN	0.600m
SC種	60kN	0.675m



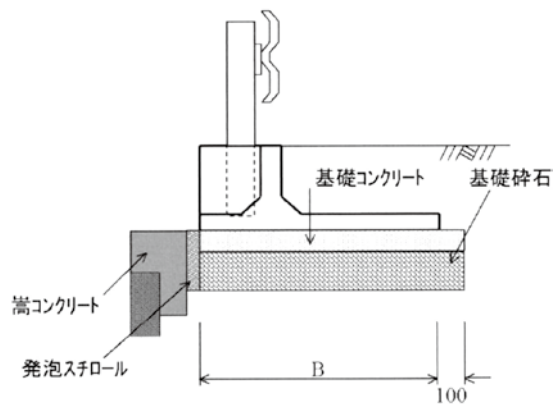
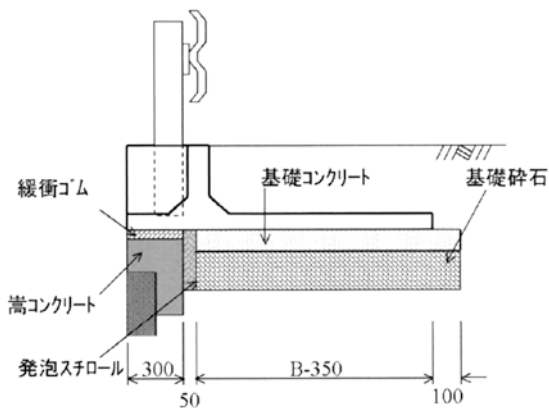
特 長

1. Gベースは、下部構造の上部に緩衝材を敷設しその上に直接設置が可能のため、従来工法に比べ、余幅の用地を必要としません。また、衝突事故が発生した場合であっても、中空に設置されたGベースは下部構造物に衝突荷重を与えません。
2. 側溝を抱きかかえた計画に対応できます。
3. ボルト連結で簡単に施工できます。
4. 標準製品でR 15mまでの曲線施工に対応できます。
5. 縦断勾配に合わせた設置が可能で、縦断勾配 10% まで対応できます。

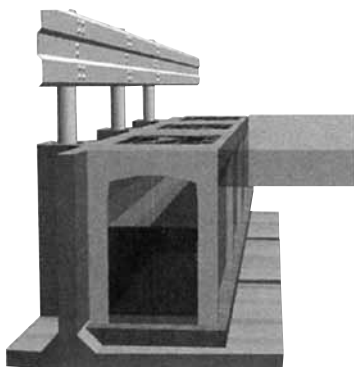


標準施工断面図（直上設置タイプ）

標準施工断面図（非直上設置タイプ）



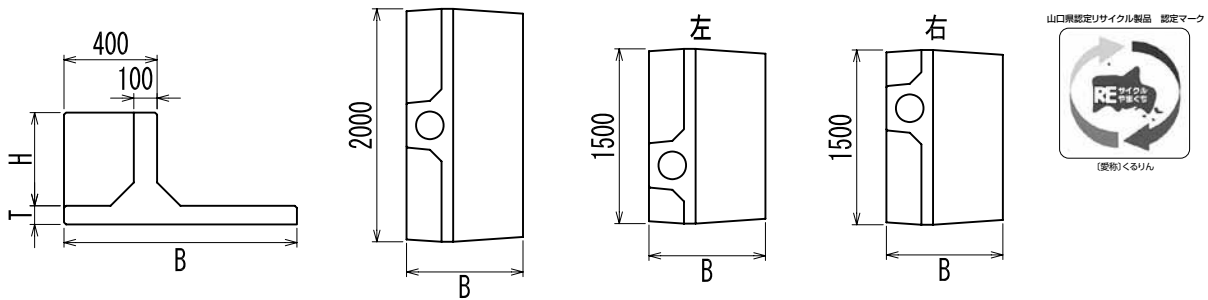
この図は標準図ですので、現場に応じて適宜設計して下さい。



	必要内高※	H400	H500	H600	H700
自由勾配側溝	495mm以上	—	○	○	○
道路用側溝	560mm以上	—	—	○	○
円形側溝	380mm以上	○	○	○	○
現場打基礎	700mm	—	—	—	○

※必要内高は各側溝の最低規格高に基礎(50mmと仮定)を考慮したものである。

Gベース（防護柵用基礎ブロック）



地域対応型（車道用）タイプL

タイプ	H (mm)	種別	B (mm)	T (mm)	L = 1,500		L = 2,000	
					参考質量 (kg)	定価 (円)	参考質量 (kg)	定価 (円)
地域対応型 (車道用)タイプL	400	B, C種 L=8m用	1,200	80	611	別途見積	790	別途見積
		B, C種 L=10~20m用	1,000	80	556		715	

※短尺製品は定価の3割増（受注生産品）
※L = 1,500は右・左あり。

防護柵基準タイプ 標準型（車道用）

タイプ	H (mm)	種別	B (mm)	T (mm)	L = 1,500		L = 2,000	
					参考質量 (kg)	定価 (円)	参考質量 (kg)	定価 (円)
擁壁直上に 設置する場合	400	B, C種	1,500	100	770	別途見積	1,015	別途見積
		A種	1,800	100	888		1,170	
		S C種	1,900	100	—		1,685	
	500	B, C種	1,500	100	838	別途見積	1,095	
		A種	1,800	100	966		1,260	
		S C種	1,900	100	—		1,875	
	600	B, C種	1,500	100	906	別途見積	1,175	
		A種	1,800	100	1,034		1,340	
		S C種	1,900	100	—		2,070	
	700	B, C種	1,500	100	988	別途見積	1,270	
		A種	1,800	100	1,112		1,430	

※短尺製品は定価の3割増（受注生産品）
※L = 1,500は右・左あり。
※施工延長L = 10mの規格です。

施工例



積ブロック直上



側溝設置